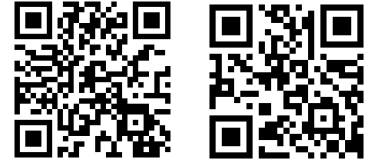


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第214号



2024年8月23日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

ホームページ メール

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



ライドシェアの実証実験

労働学校第2回 「パレスチナ問題を考える」に22名!

労働学校第2回は、7/27(土)、産プラに布施祐仁さん(ジャーナリスト・前平和新聞編集長)をお招きして「パレスチナ問題を考える」を開催しました。ロシアによるウクライナ侵略と同じように、テレビやネットなどで、生々しい悲惨な戦争の様子を毎日のように見ている中、中東問題は複雑で、なぜこのようなことになったのか? なかなかすっきりと理解する事は難しく、今回の学習会を楽しみにしていました。

布施さんは、歴史的背景から現在に至るまで、詳しく説明され、パレスチナ問題の解決には、イスラエルが占領地からすみやかに撤退するとともに、パレスチナ人民に対して、独立国家樹立を含む民族自決権を尊重することが必要です。同時に、イスラエルとパレスチナ双方が、相互の生存権の承認と平和的共存の原則をもとに話し合いで解決する立場に立つことが重要だと感じました。

三浦市で「神奈川版ライドシェア」の実証実験中。登録運転手十数人、1日1~4車、夜7時~深夜1時、利用は週末に片寄るが、1日平均5回くらいです。

夜間需要僅少のため、正規の営業が成り立たない状況で、菅の「ライドシェア推進!」に呼応する黒岩・小泉らの掛声で始まりましたが、少数とはいえ利用者の役に立ってはいます。

12月半ばに8か月の試験期間を終えてどうなるか、おそらく自治体の関与は背景に退き、TAXI会社管理型ライドシェアとして存続するのかな。(自治体が支援して本来のTAXIを常駐させるという話は出てこないようです。)

推進勢力は、「ライドシェア開始」と^{けんてん}喧伝したいのですが、同じ無免許運行でも、彼らの本音である地域・時間無制限/プラットフォーム直轄/個人請負のライドシェアとは、似て非なるものであり、ここでとどめておかねばなりません。
自交総連

かがみ田苑労組で9名拡大!

かがみ田苑では、次期指定管理の獲得に向けて、9月末のプレゼンテーションを準備中です。指定管理公募に対し、現地説明会に参加したのは事業団のみ、また「質問」も、事業団のみでした。しかし、7月末締切の公募に対し、「申請期限が切れているのに、まだ書類のやりとりしている」との内部告発がありました。事業団はこれに対し、匿名であり、具体的な内容がなく、また担当課の名前を間違えている事を理由に、調べようとしません。

組合では、プレゼンを全力で準備しつつ、事業団での雇用責任と雇用継続をストライキを構えて要求し、組合員は新法人に協力(移る)意思はない声明を考えています。

